



# すずらん



〒310-0903

水戸市堀町字北ノ前95番地

TEL 029-257-9555

FAX 029-257-9666

特別養護老人ホーム 渡里すずらん苑

ショートステイ・デイサービス

ケアプランセンター

http://www.watarisuzuranen.jp/ 編集者 石井 利明

昭和初期の時代が偲ばれました：

## 内原郷土史 義勇軍資料館

平成の大合併で水戸市と内原町が合併して、まもなく十五年になるうとしております。今や内原地区はイオンの出店により、一大商業地にもなりましたが、かつては海外移住のための農業開拓訓練所が置かれたための教育発生の地であり、今でも一帯には、のどかな田園風景が、広がっております。

さて、改元して七ヶ月、令和の響きも耳になれはじめ、振り返



当時の日輪兵舎がほぼ原寸大で復元されておりました。



日輪兵舎のミニチュアも

ると昭和が少しずつ遠くなっていく感じがします。そこで、渡里すずらん苑デイサービスでは、

昭和初期の戦時生活がうかがえる「内原郷土史・義勇軍資料館」の見学に行ってきました。

日輪兵舎の屋根をイメージした門を潜り資料館に入ると、満蒙開拓義勇軍の設立から満州での生活まで、実物資料や写真パネルなどが展示紹介されており、また野外には日輪兵舎も復元されていて、開拓訓練当時の面影をうかがい知る事ができました。説明によると、昭和十三年から二十年の終戦まで内原訓練所を経て八万



義勇軍の歴史が1枚の墨絵で図解されて...



広々とした内原地区の様子が一目瞭然...

六千人が満州に渡ったとのことです。

資料館を見学された皆様は、懐かしい昭和初期の時代を偲びながら大変感激されておりました。一方、私達戦後生まれの職員にとつては、今の暮らしから遠く考え



訓練当時の写真パネルから農具まで



も及ばないような、当時の訓練生活の様子に驚嘆させられました。

大志を抱き明日への夢を信じて渡満した義勇軍の皆様は、やがて敗戦により引き揚げを余儀なくされ帰国しましたが、当時焦土と化していた日本では食料不足が深刻化しており、再び多くの方が戦後開拓事業の名のもとに国内各所の未開地に向かわれた事を思うと、その長年に渡るご苦労がうかがわれ、大変感慨深い見学会となりました。

水戸市内原郷土史義勇軍資料館  
(十一月十二日 デイサービス)

### すずらん苑「芋煮会」



「輪を広げる会」の皆様による、よさこいソーラン・おかめひよつとこ踊りなどの演技を楽しんだ後は、みんなで美味しく芋煮をいただきました。(十一月二十日)



### 「デパート」気分でお買い物!

最近ではネットショッピングも盛んになってきましたが、やっぱりファッションは自分の目と手で確かめてから選びたい。そんな利用者の想いにあわせ「出張デパート販売会」が来苑。皆様じっくり品定め! (十一月十一日)



### 十二月の予定

- ◎ 音楽療法
- ◎ 理学療法
- ◎ 書道教室
- ◎ 唱歌クラブ
- ◎ 手作りおやつ
- ◎ クリスマス会
- ◎ もちつき大会
- ◎ 年越し蕎麦打ち会



一つ咲く

冬の椿を

切りにけり

富安 風生

### おしゃべり喫茶「夢たのし」

デイサービスご利用者の皆様が自ら接客サービスする「おしゃべり喫茶」。毎回、いろいろな会話が弾みます。(十一月十四日)



### デイサービス運営推進会議

地域住民代表者・ご家族様・ご利用者様と水戸市介護保険課の職員を交えて「運営推進会議」を開催。当苑からの活動報告や参加者との意見交換、そして



ダイの「夢たのし」などのイベントを体験していただきました。(十一月十四日)

### 感染症・食中毒に関する内部研修会

低温・乾燥を好むノロウイルスは冬場に多発します。今回の内部研修はその予防や嘔吐時の対応など感染症・食中毒に関する研修を行いました。(十一月十四日)



### 避難誘導訓練を行いました

十一月二十二日に、冬の防災訓練を行いました。今回は厨房より火災発生との想定による避難誘導訓練といたしました。

この時期は特に乾燥する時期でもあり、なによりも火の元管理の徹底を確認しました。

### きよしこの夜

訳詞 由木 康  
作曲 グルーバー



きよし この夜 星は光り  
救いの子は まぶねの中に  
眠りたもういとやすく

きよし この夜 み告げ受けし  
牧人たちは み子のみ前に  
ぬかずきぬ かしこみて

きよし この夜 み子の笑みに  
恵みのみ代の あしたの光  
輝けり ほがらかに

